



記

明けましておめでとうございます。皆様それぞれのお正月をお迎えになられたことと存じます。羽根つきや凧揚げの風景は全く無くなりましたが、時代と共に変遷してまいります。ニュースもあれこれ、感想は言いたいけどここでは控えます。扱、新年一回目の演目は、「こうもり」定番ですが、サザーランド引退のも、ドミンゴ指揮のもその他いくつかありますが、今回は、随分迷いました。優れた映像を数本見て、「これにしましょう」とつぶやいては何回「いや、こちらに・・・」と3・4日没頭しましたが、やっと決めました。「King of melody」1952年イタリア映画です。KLAで昔一度ご覧になった方もありますが、ここ二三十年お蔵になっていましたもの。Verdi(1813～1901)の生涯です。随所にご存じのオペラの舞台が見られ、当時の歴史的背景や、作品の成り立ちなど。そして、リコルディ社がこの作品の資料を提供しているので、デル・モナコのアテロなどの珍しい面も見られます。もう、何度かオペラをご覧になってますからこそ、つながりもお判りになることでしょう。唯、残念なことに95%は見られますが、70年近い時の劣化は、もうここまでかとAlas!ビデオからDVDに移し替えた時期すでに遅かったかもしれません。でも、最期の少しだけですんだ事の僥倖に感謝しましょう。ではでは青戸

以上

